

早期回復から生活の自立をめざして

精神疾患により心身の機能に不調をきたした方々に対し、入院中から退院後まで連携して作業療法、デイ・ケアプログラムを行い、就労、生活の自立に向けて精神科リハビリテーションサービスを提供しています。

診療体制

入院患者には精神科作業療法、外来患者にはデイ・ケアが担当し、いずれも医師、看護師、作業療法士、臨床心理士がチームを組んで、入院から退院まで連携をとりながらリハビリテーションプログラムを進めていきます。

対象疾患

統合失調症、うつ病、躁うつ病などの気分障害、パニック障害や強迫性障害、社会不安障害などの神経症性障害、摂食障害、てんかん、広汎性発達障害等の精神疾患。

診療、研究実績

一般的な診療についての実績

精神科リハビリテーションの年間実施件数は、精神科作業療法が約4,800件、デイ・ケアが約3,500件(ショート・ケアを含む)です。

高度医療の取り組み・研究

○統合失調症のための認知行動療法プログラム

統合失調症患者に対してグループで認知行動療法を導入することで、自立した生活、就労を目指した取り組みを始めています。



安全で効率的な医療器材の供給をめざして

材料部門では院内で使用された器具の洗浄や滅菌、医療材料の供給を担当。機器部門では臨床工学技士が人工呼吸器など医療機器の点検や手術、人工透析で使用される生命維持装置の操作を担当しています。

業務内容

■ 材料部門業務

- ①供給センターでは、院内で使用する医療材料などをラベル管理で供給。また、滅菌センターでは院内で使用された医療器具の回収、洗浄、滅菌、供給を担当しています。
- ②安全・高品質な材料をスムーズに供給するため、関連スタッフの教育支援や環境整備、各部署間の調整を行っています。



■ 機器管理業務

- ①院内で使用される人工呼吸器、輸液・シリンジポンプを中心に中央管理をしています。
- ②機器の定期的保守点検を行い、正常に動作する機器のみが貸し出されるシステムを構築しています。
- ③医療スタッフに対して機器の適正な使用方法などの教育を行い、安全性の向上に努めています。

■ 診療支援業務

- ①手術部や人工腎臓部などにおいて、臨床工学技士が生命維持装置(人工心肺、透析装置、高圧酸素治療装置)の操作や麻酔器、内視鏡、患者監視モニターなどの機器管理を行っています。
- ②各部門のスタッフと協力し、検査や診療がスムーズに行われるようサポートしています。

